



®環境省

エコアクション21

認証番号 0004714

環境活動レポート

【第11版】

発行日：令和 2年 1月 7日

改定日：令和 2年 1月 27日

対象期間：平成30年10月から令和元年9月

(令和元年度)

RYOKURIN

株式会社 リョクリン

目次

主要な事業内容の概要

ページ

(1)	目次	1
(2)	環境方針	2
(3)	組織の概要等	3. 4. 5. 6. 7. 8
(4)	中期目標とその実績	9. 10. 11
(5)	主要な環境活動計画の内容	12
(6)	環境活動について	13. 14
(7)	代表者による全体の評価と見直し	15
(8)	優良廃棄物処理業者認定制度について	16
(9)	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	17
(10)	その他	18
(11)	別紙 処理工程図	

環 境 方 針

環境理念

株式会社リョクリンは順法の基、産業廃棄物処理業者として、安心・確実な産業廃棄物の運搬・処分をお客様に提供します。また、美しい地球を次世代に残すため、リサイクルの推進・環境に配慮した施設運営を全社員一丸となって推進し、地球環境の保全に貢献します。

尚、建設業につきましても、地域社会と協調・調和を図り、共に地域の発展に努めます。

重点項目

- 1) 環境に配慮した製品の購入を促進し、資源を有効に活用します。
- 2) 組織に適用される環境に関する法規等の遵守を誓約します。
- 3) 消費電力の削減に取り組み、環境負荷の抑制に努めます。
- 4) 受託した産業廃棄物の分別を徹底し、リサイクルの促進及び最終処分量の削減に取り組みます。
- 5) 廃棄物処理業のプロとして、一般廃棄物から分別を徹底してリサイクルを促進します。
- 6) 車両・重機の運行はエコ運転ルールを実践し、省エネと排気ガス抑制に努めます。
- 7) 中間処理場は、粉塵・騒音などの環境負荷を低減させると共に、緊急時の手順を確立し、廃棄物の漏洩を未然に防止するよう努めます。
- 8) 水使用量の削減に取り組み、節水に努めます。
- 9) 建設現場における産業廃棄物の分別を徹底することにより、リサイクルの促進及び最終処分量の削減に取り組みます。

制定日 平成 21 年 3 月 1 日

改定日 平成 29 年 4 月 7 日



株式会社リョクリン

代表取締役 鈴木 隆真

(3) 組織の概要等

- 1) 商 号 株式会社 リョクリン
- 2) 代 表 者 代表取締役 鈴木 隆真
- 3) 所在地（対象事業所） 〒470-0103
 （事業所） 愛知県日進市北新町福井 182 番 153
 （第1プラント） 愛知県日進市北新町福井 182 番 42
 （第2プラント） 愛知県日進市北新町福井 181 番 7
 （営業本部） 〒480-1111
 愛知県長久手市山越 119 番
- 4) 環境管理責任者及び
 統括担当者 環境管理責任者：小島 大輔 daisuke.k@ryokurin.co.jp
 EA21 統括責任者：佐藤 弘樹 hiroki.s@ryokurin.co.jp
 TEL：0561-74-7800 FAX：0561-74-7810
 URL：http://www.ryokurin.co.jp
- 5) 設 立 平成 14 年 5 月 13 日
- 6) 資 本 金 18,000,000 円
- 7) 売 上 高 産業廃棄物関連：1,181,749 千円（H.30年4月～H.31年3月）
 建設業関連：0 千円（H.30年4月～H.31年3月）
- 8) 決 算 期 3 月
- 9) 業 務 内 容 産業廃棄物収集運搬・処分業（選別、破碎、分級、分級・混練、
 分級・選別）
 建設業（とび・土木工事業、造園工事業、解体工事業、土木工事業、
 石工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、
 水道施設工事業）

10) 許 可 番 号

	許可場所	許可番号	許可年月日	許可有効期限
産業廃棄物処分業許可	愛知県	第 02320099494 号	平成 29 年 11 月 2 日	平成 35 年 3 月 8 日
産業廃棄物収集運搬業許可	愛知県	第 02300099494 号	平成 25 年 11 月 15 日	平成 32 年 11 月 14 日
産業廃棄物収集運搬業許可	岐阜県	第 02100099494 号	平成 28 年 4 月 23 日	平成 35 年 4 月 22 日
産業廃棄物収集運搬業許可	三重県	第 02400099494 号	平成 28 年 2 月 18 日	平成 35 年 2 月 17 日
産業廃棄物収集運搬業許可	滋賀県	第 02501099494 号	平成 27 年 3 月 17 日	平成 32 年 3 月 16 日
産業廃棄物収集運搬業許可	静岡県	第 02201099494 号	平成 29 年 6 月 6 日	平成 36 年 6 月 5 日

- 11) 対 象 範 囲
 及 び
 活 動 範 囲
- ・株式会社リョクリン全社一括 総従業員数 34 名
 - ・産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物処分業・建設業
 （平成 30 年 10 月～令和元年 9 月の対象期間には
 建設業の実績はありません）

産業廃棄物収集運搬業許可品目

愛知県	燃え殻（水銀含有ばいじん等を除く。）、汚泥（水銀含有ばいじん等を除く。）、	
	廃油、廃酸（水銀含有ばいじん等を除く。）、廃アルカリ（水銀含有ばいじん等を除く。）、廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を	
	含む。）、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず	
	（自動車等破砕物を除く。）、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、	
	改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず（自動車等破砕物	
	を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。）、銻さい（水銀含有ばいじん等を除く。）、	
	がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む。）、ダスト類（水銀含有ばいじん等を除く。）、令第2条第13号廃棄物	
以上 17 品目（水銀使用製品産業廃棄物を含む。）		
岐阜県	燃え殻、汚泥、廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く。）紙くず、木くず、	
	繊維くず、ゴムくず、金属くず(自動車等破砕物を除く。）、ガラスくず・	
	コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）	
	及び陶磁器くず（自動車等破砕物を除く。）がれき類	
	上記品目は石綿含有産業廃棄物であるものを含む。	
	廃油、廃酸、廃アルカリ、動植物性残さ、銻さい、ばいじん、令第2条第13	
号廃棄物	以上 17 種類	
上記品目は水銀使用製品産業廃棄物を含む。また、水銀含有ばいじん等を除く。		
三重県	廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む。）、金属くず、ガラスくず等	
	（石綿含有産業廃棄物を含む。）	
	上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物を含む。	
	燃え殻（水銀含有ばいじん等を除く。）、汚泥（水銀含有ばいじん等を除く。）、	
	廃油、廃酸（水銀含有ばいじん等を除く。）、廃アルカリ（水銀含有ばいじん等を除く。）、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、銻さい	
	（水銀含有ばいじん等を除く。）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む。）、	
	ばいじん（水銀含有ばいじん等を除く。）、処分するために処理したもの	
以上 17 種類		
滋賀県	汚泥（無機性汚泥に限る。）、廃プラスチック類、紙くず、木くず、	
	繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリー	
	トくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）	
	及び陶磁器くず、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む。）	
石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含む。 以上 10 項目		
静岡県	廃プラスチック類（石綿含有廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含む。）、	
	ゴムくず、金属くず（水銀使用製品産業廃棄物を含む。）ガラスくず・コンク	
	リートくず及び陶磁器くず（石綿含有廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物	
	を含む。）がれき類（石綿含有廃棄物を含む。）、燃え殻、汚泥、紙くず、木く	
ず、繊維くず、動植物性残さ、銻さい、ばいじん	以上 13 品目	

12) 中間処理施設事業の範囲

産業廃棄物処分業許可品目

中間 処 理 施 設	選 別	廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く。）、紙くず、木くず、
		繊維くず、ゴムくず、金属くず(自動車等破砕物を除く。)、ガラスくず・
		コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた
		ものを除く。）及び陶磁器くず（自動車等破砕物を除く。）、がれき類
	以上 8 品目（水銀使用製品及び石綿含有産業廃棄物を除く。）	
	破 砕	廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く。）、紙くず、木くず、
		繊維くず、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は
		除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず（自動車等破砕物を
	除く。）	
	以上 5 品目（水銀使用製品及び石綿含有産業廃棄物を除く。）	
分 級	燃え殻(水銀含有ばいじん等を除く。)、廃プラスチック類(自動車等破砕	
	物を除く。)、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず(自動車	
	等破砕物を除く。)、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、	
	改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず(自動車等	
	破砕物を除く。)、鉱さい（水銀含有ばいじん等を除く。）、がれき類	
以上 10 品目（水銀使用製品及び石綿含有産業廃棄物を除く。）		
分級・混練	燃え殻（水銀含有ばいじん等を除く。）、汚泥（無機性汚泥に限る。	
	水銀含有ばいじん等を除く。）、廃プラスチック類（自動車等破砕物を	
	除く。）、紙くず、木くず、金属くず(自動車等破砕物を除く。）、	
	ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴な	
	って生じたものを除く。）及び陶磁器くず（自動車等破砕物を除く。）、	
鉱さい（水銀含有ばいじん等を除く。）、がれき類、ダスト類（水銀		
含有ばいじん等を除く。）		
以上 10 品目（水銀使用製品及び石綿含有産業廃棄物を除く。）		
分級・選別	廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く。）、紙くず、木くず、	
	繊維くず、ゴムくず、金属くず(自動車等破砕物を除く。)、ガラスくず	
	・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は、除去に伴って生じた	
	ものを除く。）及び陶磁器くず（自動車等破砕物を除く。）、がれき類	
以上 8 品目（水銀使用製品及び石綿含有産業廃棄物を除く。）		

13) 事業の用に供するすべての施設



I 選別施設（第一プラント）

設置場所：日進市北新町福井 182 番 42

設置年月日：平成 13 年 12 月 21 日

処理能力：85.2 m³/日（8.52 m³/時間）

II 分級施設（第二プラント）

設置場所：日進市北新町福井 181 番 7

設置年月日：平成 21 年 3 月 23 日

処理能力：500.8 m³/日（62.6 m³/時間）

III 分級・混練施設（第二プラント）

設置場所：日進市北新町福井 181 番 7

設置年月日：平成 25 年 2 月 1 日

処理能力：汚泥（無機性汚泥に限る。） 1115.52 m³/日（139.44 m³/時間）

IV 分級・選別施設（第一プラント）

設置場所：日進市北新町福井 182 番 42

設置年月日：平成 13 年 12 月 21 日

処理能力：272.6 m³/日（27.26 m³/時間）

V 分級・選別施設（第二プラント）

設置場所：日進市北新町福井 181 番 7

設置年月日：平成 21 年 3 月 23 日

処理能力：231.6 m³/日（28.95 m³/時間）

VI 破碎施設（第一プラント）

設置場所：日進市北新町福井 182 番 42

設置年月日：平成 28 年 8 月 18 日

処理能力

- ・ 廃プラスチック類（自動車等破碎物及び含有産業廃棄物を除く。）

4.56t/日（0.57t/時間）

- ・ 紙くず

4.0t/日（0.5t/時間）

- ・ 木くず

4.78t/日（0.598t/時間）

- ・ 繊維くず

4.75t/日（0.594t/時間）

- ・ ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず（自動車等破碎物及び石綿含有産業廃棄物を除く。）

4.13t/日（0.516t/時間）

14) 許可車両及び保有設備



保有車両	4 t アームロール	2 車
	4t ユニック付フックロール	1 車
	8t ユニック付フックロール	1 車
	10 t ダンプ車	4 車
	セミトレーラー	1 車
	軽自動車 (バン)	1 車
	普通自動車 (バン)	1 車
保有コンテナ	8 m ³ コンテナ	94 台
	1 m ³ コンテナ	256 台
保有作業機械	0.1 m ³ バックホウ	1 台
	0.25 m ³ バックホウ	1 台
	0.45 m ³ バックホウ	1 台
	0.7 m ³ バックホウ	4 台
	ホイールローダー	2 台
許可設備	選別設備：振動篩い機、各プラント 1 機	
	破砕設備：破砕機 1 機	
	分級・混練設備：日立 SR-P1800	

15) 処理実績 中間処理量： 72,320.63t / 年 (平成 30 年 10 月から令和元年 9 月)

収集運搬量： 40,669.15t / 年 (平成 30 年 10 月から令和元年 9 月)

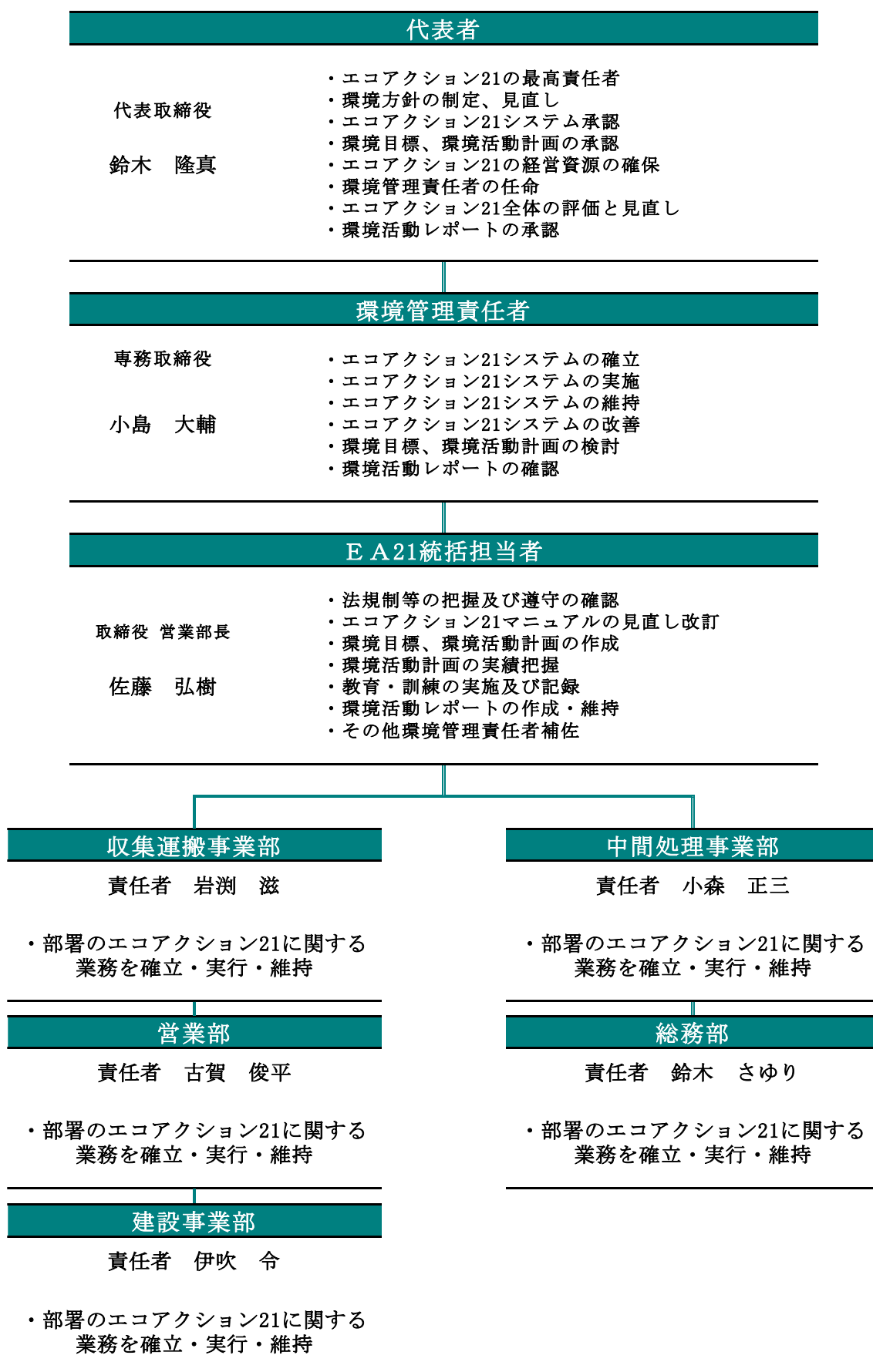
16) 廃棄物処理料金 別途見積による。

17) 処理工程図 別紙参照

18) 環境活動レポートの対象範囲

今回の活動期間は平成 30 年 10 月から令和元年 9 月までとなります。次回は、令和元年 10 月から令和 2 年 9 月までとなります。また、環境活動レポートは令和 2 年 12 月に作成致します。

19) 環境活動組織図 (令和元年9月現在)



(4) 中期目標とその実績

1) 中期目標（令和元年度から令和3年度）

項目		基準値 (平成25年度)	令和元年度 目標数値	令和2年度 目標数値	令和3年度 目標数値	
二酸化炭素排出 量の削減	電力 (本社プラント)	0.765kwh/t 14,934 (kg-CO ₂)	0.704kwh/t (8%削減) 13,739 (kg-CO ₂) (8%削減)	0.696kwh/t (9%削減) 13,590 (kg-CO ₂) (9%削減)	0.688kwh/t (10%削減) 13,440 (kg-CO ₂) (10%削減)	
	電力 (営業本部)	1,052kwh/月 6,273 (kg-CO ₂) (平成30年度基準)	1,041.5kwh/月 6,210 (kg-CO ₂) (1%削減)	1,031.0kwh/月 6,148 (kg-CO ₂) (2%削減)	1,020.4kwh/月 6,085 (kg-CO ₂) (3%削減)	
	ガソリン	0.0109ℓ/千円(25年度基準) 18,575 (kg-CO ₂) (平成30年度基準)	0.0100ℓ/千円 (8%削減) 18,390 (kg-CO ₂) (1%削減)	0.0099ℓ/千円 (9%削減) 18,204 (kg-CO ₂) (2%削減)	0.0098ℓ/千円 (10%削減) 18,018 (kg-CO ₂) (3%削減)	
	軽油	【収集運搬】	3.27 ℓ/t 342,893 (kg-CO ₂) (平成30年度基準(目標新設))	【収集運搬】 3.24 ℓ/t 339,464 (kg-CO ₂) (1%削減)	【収集運搬】 3.20 ℓ/t 336,035 (kg-CO ₂) (2%削減)	【収集運搬】 3.17 ℓ/t 332,606 (kg-CO ₂) (3%削減)
		【中間処理・建設業】	1.70 ℓ/t (27年度基準) 254,151 (kg-CO ₂) (平成30年度基準(目標新設))	【中間処理・建設業】 1.60 ℓ/t (6%削減) 251,609 (kg-CO ₂) (1%削減)	【中間処理・建設業】 1.58 ℓ/t (7%削減) 249,068 (kg-CO ₂) (2%削減)	【中間処理・建設業】 1.56 ℓ/t (8%削減) 246,526 (kg-CO ₂) (3%削減)
	CO ₂ 合計	636,826 (kg-CO ₂)	629,412 (kg-CO ₂)	623,045 (kg-CO ₂)	616,675 (kg-CO ₂)	
産業廃棄物埋立率削減及び リサイクル率向上	埋立：13.0%未満 リサイクル：87.0%以上	埋立：10.0%未満 (3%削減) リサイクル：90.0%以上 (3%向上)	埋立：9.0%未満 (4%削減) リサイクル：91.0%以上 (4%向上)	埋立：8.0%未満 (5%削減) リサイクル：92.0%以上 (5%向上)		
建設業における埋立率削減及び リサイクル率向上	埋立：20.0%未満 リサイクル率：80.0%以上 (平成26年度基準)	埋立：14.0%未満 リサイクル：86.0%以上 (7%削減・向上)	埋立：13.0%未満 リサイクル：87.0%以上 (8%削減・向上)	埋立：12.0%未満 リサイクル：88.0%以上 (9%削減・向上)		
事業系一般廃棄物の分別と削減(本社プラント)	42.50kg/月	39.10kg/月 (8%削減)	38.68kg/月 (9%削減)	38.25kg/月 (10%削減)		
事業系一般廃棄物の分別と削減(営業本部)	5kg/月 (平成28年度基準)	4.85kg/月 (3%削減)	4.80kg/月 (4%削減)	4.75kg/月 (5%削減)		
水使用量削減(本社プラント)	10.0m ³ /月 (平成30年度基準(目標新設))	9.9m ³ /月 (1%削減)	9.8m ³ /月 (2%削減)	9.7m ³ /月 (3%削減)		
水使用量削減(営業本部)	4.17 m ³ /月 (平成28年度基準)	4.04m ³ /月 (3%削減)	4.00m ³ /月 (4%削減)	3.96m ³ /月 (5%削減)		
グリーン購入(事務用品)	80%以上購入	80%以上購入	80%以上購入	80%以上購入		

☆電力のCO₂換算係数は平成26年度 0.497（中部電力）使用。

☆電力(本社プラント)は電力総使用量(kwh)/産業廃棄物総受託量(t)にて目標値を設定しております。

☆電力(営業本部)は電力総使用量(kwh)/(月)にて目標値を設定しております。

☆ガソリンは総使用量(ℓ)/総売上高(千円)にて目標値を設定しております。

☆軽油の目標値は平成 28 年度より【収集運搬】【中間処理・建設業】別々で設定してあります。

☆軽油(収集運搬)の目標値は総使用量(ℓ)/産業廃棄物総収集運搬量(t)にて目標値を設定しております。

☆軽油(中間処理・建設業)の目標値は総使用量(ℓ)/産業廃棄物総受託量(t)にて目標値を設定しております。

☆事業系一般廃棄物の分別と削減は総排出量(kg)/(月)にて目標値を設定しております。

☆水使用量削減は総使用量(m^3)/(月)にて目標値を設定しております。

☆PRTR 法に該当する化学物質はありません。

2)実績表（平成30年10月～令和元年9月）

項目		令和元年度目標数値	実績（平成30年10月～令和元年9月）	評価
二酸化炭素排出量の削減	電力 (本社プラント)	0.704kwh/t 13,739 (kg-CO ₂)	0.379 kwh/t 13,632 (kg-CO ₂)	○
	電力 (営業本部)	1,041.5 kwh/月 6,210 (kg-CO ₂)	985.5 kwh/月 5,878 (kg-CO ₂)	○
	ガソリン	0.0100ℓ/千円 18,390 (kg-CO ₂)	0.0058ℓ/千円 17,243 (kg-CO ₂)	○
	軽油	収集運搬 3.24ℓ/t 339,464 (kg-CO ₂)	2.86ℓ/t 305,360 (kg-CO ₂)	○
		中間処理・建設業 1.60ℓ/t 251,609 (kg-CO ₂)	1.51ℓ/t 287,331 (kg-CO ₂)	○
	CO ₂ 合計	629,412 (kg-CO ₂)	629.444 (kg-CO ₂)	×
産業廃棄物埋立率削減	埋立：10.0%未満	埋立：6.1%	○	
及びリサイクル率向上	リサイクル：90.0%以上	リサイクル：93.9%	○	
建設業における埋立率削減	埋立：15.0%未満	埋立：—%	—	
及びリサイクル率向上	リサイクル：85.0%以上	リサイクル：—%	—	
一般廃棄物の分別と削減 (本社プラント)	39.10kg/月	34.16kg/月	○	
一般廃棄物の分別と削減 (営業本部)	4.85kg/月	4.02kg/月	○	
水使用量削減(本社プラント)	9.9m ³ /月	8.66m ³ /月	○	
水使用量削減(営業本部)	4.04 m ³ /月	4.12 m ³ /月	×	
グリーン購入	80%購入	80%購入	○	

☆電力のCO₂換算係数は0.497（中部電力）使用 ※目標達成○ 目標未達成×

【消費電力・ガソリン消費量・軽油消費量】

消費電力につきましては、本社プラント営業本部ともに目標数値及び二酸化炭素排出量全てを達成しました。

ガソリン消費量は売上高に対する目標数値及び二酸化炭素排出量ともに達成しました。

軽油消費量は、[収集運搬]で目標数値及び二酸化炭素排出量を達成し、[中間処理・建設業]は目標数値のみ達成（二酸化炭素排出量は未達成）でした。

【CO₂合計】CO₂合計はわずかに目標達成出来ませんでした。

【産業廃棄物埋立率、リサイクル率】埋立率及びリサイクル率を目標達成しました。

【建設業における埋立率、リサイクル率】評価対象実績がありませんでした。

【一般廃棄物】本社プラント・営業本部は一般廃棄物排出削減を目標達成しました。

【水使用量】本社プラント・営業本部は水使用量削減は目標達成しましたが営業本部は未達成でした。

【グリーン購入】環境に配慮した製品の購入リストに基づき活動し目標達成しました。

(5) 主要な環境活動計画の内容（令和元年度）

1. 環境に配慮した製品の購入	①環境に配慮した消耗品を抜粋した、購買品リストの作成と購買ルール周知の徹底 ②購買ルールに基づく消耗品の注文
2. 消費電力削減	①電気運用ルールの周知徹底 ②エアコンの温度設定の周知徹底 ③パソコンの省電力モード使用 ④中間処理の照明、モーター等の電源、ブレーカー等の切り忘れチェック
3. 産業廃棄物埋立量削減とリサイクル率向上	①目標を定め数値化して社員全員に周知徹底 ②廃棄物分別手順書の周知徹底 ③廃棄物分別状況点検表のチェック
4. 建設業における埋立率削減及びリサイクル率向上	①目標を定め数値化して社員全員に周知徹底 ②建設現場での分別の徹底 ③廃棄物搬出状況結果表のチェック
5. 一般廃棄物の分別	①一般廃棄物の分別ルールの周知徹底 ②当社事務所、休憩所内ゴミ箱へのルール張り出し ③市の古紙回収業者等へ依頼
6. 軽油消費量削減	①エコ運転ルール周知徹底 ②重機、車両へのルール張り出し ③アイドリングストップ徹底 ④車両点検、重機点検の徹底 ⑤重機はエコノミーモードで運転
7. ガソリン消費量削減	①エコ運転ルール周知徹底 ②効率的なルートでの営業業務の徹底 ③アイドリングストップ徹底
8. 緊急時の対応準備	①当社事業での環境へ影響を及ぼす恐れのある緊急時への対応手順書の周知徹底 ②年1回の緊急時訓練の実施 ③緊急時の連絡表の周知徹底
9. 水使用量の削減	①目標を定め数値化して社員全員に周知徹底 ②洗車水、散水の節約 ③節水ラベルの貼り出し
10. 環境に配慮した施設運営	①場内維持管理手順書の周知徹底 ②中間処理場維持管理記録表のチェック ③廃棄物へのシート掛け、場内散水徹底による粉塵対策徹底

(6) 環境活動について

1)環境活動の取り組み結果の評価

項目	結果	評価
1. 環境に配慮した製品購入	リストに基づいた購入を継続。エコトナー購入やコピー用紙も裏面使用を徹底することが出来、データ管理出来るもの等紙の使用量を抑えることも出来た。	○
2. 消費電力削減	本社プラントは電気運用ルールの周知徹底を行い、また、電源・照明・ブレーカー等切り忘れチェックの徹底も行えた。尚、太陽光発電設備設置により計 44,555 kwh を売電することが出来た。	○
	営業本部は平成 30 年度の実績を基に改めて目標設定し、エアコンの温度設定の周知徹底や使用の抑制等を行うことが出来た。	○
3. 一般廃棄物の分別	本社プラントは、新人も含め分別ルールの周知徹底を行うことで目標数値を達成した。	○
	営業本部も個々の意識付けに加え、お互いの声かけ等を行うことが出来た。	○
4. 軽油消費量削減	[収集運搬]は新たな目標設定を行った上で、エコ運転ルール、アイドルングストップ、車両点検の周知徹底をしっかりと行うことが出来た。	○
	[中間処理・建設業]は、重機点検の周知徹底、エコノミーモード運転等を行うことが出来た。	○
5. ガソリン消費量削減	エコ運転ルール、効率的なルートでの営業計画及び実行等周知徹底することが出来た。	○
6. 緊急時の対応準備	緊急時連絡表の周知(張出し)徹底、対応手順書の周知徹底、年1回の緊急時訓練をしっかりと行った。	○
7. 産業廃棄物埋立量削減とリサイクル率向上	廃棄物分別手順書の周知徹底や廃棄物分別状況点検表のチェック等しっかりと行うことが出来た。	○
8. 建設業における埋立量削減とリサイクル率向上	該当実績なし。	—
9. 水使用量の削減	本社プラントは、洗車水の節約を行った。散水も、必要に応じて無駄なく適切に行った。	○
	営業本部は、個々が節水の意識を持って活動することは出来た。清掃時や来客対応時等、再度適正な目標設定を検討する。	×
10. 環境に配慮した施設運営	運営マニュアルに則って、場内維持管理手順書の周知徹底、記録表のチェック等しっかりと行った。また、廃棄物へのシート掛け、場内散水徹底による粉塵対策徹底も行うことが出来た。	○

2)次年度の取り組みについて

1. 環境に配慮した製品購入	次年度も、引き続きコピー用紙裏面使用及びリサイクルコピー用紙購入を積極的に行い、環境に配慮した製品購入活動を継続していく。
2. 消費電力削減	<p>本社プラントは今年度も太陽光発電設備により、売電を行うことが出来た。次年度も、電気運用ルールの徹底等行うとともに、引き続き売電も継続して今後の消費電力削減に反映していく。</p> <p>営業本部は、今年度は目標数値及び二酸化炭素排出量の目標を再設定し目標達成出来たが、引き続き、電気運用ルールをしっかりと周知徹底しながら活動していく。</p>
3. 一般廃棄物の分別	<p>本社プラントは人員が増えており、更に今後も増員が見込まれる。新人はもちろんのこと、再度、一般廃棄物分別ルールの周知徹底を行い、リサイクルへの意識付けもしっかり行っていく。</p> <p>営業本部は次年度も更なる削減を追求するために、分別ルールの徹底や声かけを行っていく。</p>
4. 軽油消費量削減	エコ運転ルールの周知徹底、アイドリングストップの徹底、車両点検及び重機点検の徹底、重機エコノミーモードによる運転等、引き続き意識を高く持って活動を行っていく。 必要に応じて目標設定の見直しを検討する。
5. ガソリン消費量削減	引き続き、走行ルートの見直し及びエコ運転の徹底、アイドリングストップの徹底、効率的な運行ルートでの営業業務の徹底を図り、目標達成に向け活動する。
6. 緊急時の対応準備	年1回の訓練を継続し、新入社員、パート等、新人加入時にはその都度、緊急時対応手順書及び連絡表の周知徹底を行っていく。
7. 産業廃棄物埋立量削減とリサイクル率向上	新人加入時含め、常に意識できるように廃棄物分別手順書の周知徹底、廃棄物分別状況点検表のチェックの徹底等しっかり行っていく。
8. 建設業における埋立量削減とリサイクル率向上	公共工事含め積極的に営業に取り組み、受注の際は、廃棄物分別をしっかり行っていく。
9. 水使用量の削減	本社プラント・営業本部ともに無駄な排水を抑えながら、必要に応じた適正な水使用を行っていく。
10. 環境に配慮した施設運営	今後も場内維持管理手順書及び記録表のチェックを行いながら、活動しながら、廃棄物へのシート掛け、場内散水徹底による粉塵対策等も引き続きしっかり行っていく。

(7) 代表者による全体の評価と見直し

実施日：2019年12月21日

参加者：鈴木代表取締役、小島（環境管理責任者）、佐藤（統括担当者）

【インプット情報の収集と分析】

① 収集すべき情報

- ・環境への負荷の自己チェックデータ
- ・環境への負荷の取組チェックシートの評価結果
- ・エコアクション21実行結果 / 実績表
- ・法規制等の遵守状況チェック結果表
- ・その他（月次環境負荷集計表など）

② 収集した情報の分析結果（含む、改善の余地）

全体的に見て、大半の項目に対して目標達成出来ており、また、個々での取り組みも意識付けから活動までしっかりと行えている点は高く評価出来る。引き続き、各ルールの周知及び再確認を繰り返し行いながら活動を徹底していく。

また、水使用量の削減(営業本部)等目標未達成だった項目含め、目標数値の見直しが必要となる場合は、変更から全社員への周知徹底まで速やかに行う。

尚、次年度以降も、人員増加、車両及び重機の増車、処理施設の拡張などが見込まれ、それに伴う形で、環境への負荷が増す状況が想定される。必要に応じた目標設定も行いつつ、迅速な新人教育及び既存社員の再教育を繰り返し行いながら、目標達成に向けた活動を行っていく。

【全体評価と見直し】

☆改善要否と指示事項☆

- ① 環境方針・・・環境方針は次年度も変更なし。 要 / 否
- ② 環境目標及び環境活動計画・・・環境目標及び環境活動計画は次年度も目標を達成できるよう活動する。 要 / 否
- ③ エコアクション21マニュアル・・・マニュアルは変更なし。 要 / 否

【改善指示事項に対する実施フォロー結果（評価・コメント）】

- ・毎年、目標を達成出来ている項目については、個々の取組みを見ても各ルールの認識及び徹底を行えるようになってきたと思われる。慣れ等によって活動が疎かになることがないように、引き続き、再教育・再確認を行いながら目標達成を継続していく。
- ・目標の再設定が必要になる場合は、再設定から全社員への周知徹底までしっかり行い、新人教育が必要な際も速やかに行う。
- ・太陽光発電による売電は、今年度も昨年度に近い売電量を計上することが出来た。継続していく。
- ・マニュアルは必要に応じ随時変更を行っていく。

(8) 優良廃棄物処理業者認定制度について

平成 25 年 10 月 31 日付けで優良産業廃棄物処理業者として認定されました。

〈情報公開項目〉

法人設立年月日、資本金、売上高・・・P.3 参照

組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.8 参照

許可の内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.4、5 参照

(事業の区分と廃棄物の種類)

施設等の状況（収集運搬）・・・・・・・・・・P.7 参照

（処分）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.6、7 参照（処理工程図は別紙参照）

処理実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.7 参照

(9) 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規は一覧表にまとめ、定期的に遵守状況を確認しています。

当社の遵守状況を確認したところ、関係当局からの違反、環境に関する苦情、訴訟等の指摘はございませんでした。

また過去3年間とも上記指摘はございませんでした。

当社は地域住民へ配慮し、騒音、振動、粉塵対策を徹底して行っております。

主な関係法令・条例	要求事項	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の運搬・処分を委託する時は、契約及びマニフェストの適正な運用を行うと共に、必要な報告を行う。 産業廃棄物の収集運搬を受託する時は、自治体毎に許可を取得する。産業廃棄物の保管基準の遵守	○
廃棄物の適正な処理の促進に関する条例	産業廃棄物の委託先は年1回踏査を実施する。	○
県民の生活環境の保全等に関する条例	事業活動及び日常生活に伴う環境への負荷の低減を図り、県民の健康を保護し、県民の生活環境を保全する。	○
大気汚染防止法	大気汚染に関して、国民の健康を保護するとともに、生活環境を保全すること。	○
振動規制法	特定施設の届出・振動の規制値の遵守(定格出力が7, 5kw 以上要届出、敷地境界の規制値は60dB)	○
騒音規制法	敷地境界線上における騒音規制基準の遵守(定格出力が7, 5kw 以上要届出、敷地境界の規制値は45dB)	○
水質汚濁防止法	特定施設の基準の遵守	○
建設リサイクル法	特定建設資材廃棄物(コンクリート、建設発生材、アスファルト)の再資源化等が義務づけられている。	○
省エネ法	事業者全体での判断基準の遵守を行うとともに、中長期的に年平均1%以上のエネルギー消費原単位の低減に努める。	○
消防法	火災予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害に因る被害を軽減し、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する。	○
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物について、保健衛生上の見地から必要な取締りを行うことを目的としており、その製造、輸入、販売などのあらゆる行為を規制する。	○
家電リサイクル法	家庭用エアコン、テレビ、電気冷蔵庫・電気冷凍庫、電気洗濯機・衣類乾燥機の家電4品目について、小売業者による引取り及び製造業者による再商品化等が義務づけられている。	○
小型家電リサイクル法	携帯電話やデジタルカメラ、ゲーム機、電話機やファクスなどさまざまな小型家電製品を自治体や認定業者が回収し、その中に含まれるベースメタル(鉄や銅など)、レアメタル(金、銀、リチウム、プラチナなど)などをリサイクルするというもの。	○
オフロード法	公道を走行しない特定特殊自動車の排出ガスを規制するための新しい法律で、使用者には業種を問わず、すべての稼働現場で基準値を満たした特殊自動車の使用が義務付けられる。	○
NOx・PM法	自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法。	○
フロン排出抑制法	地球温暖化とオゾン層破壊の原因となるフロン類(CFC, HCFC, HFC)の排出抑制のため、業務用のエアコン・冷凍冷蔵機器の管理者(所有者など)には機器及びフロン類の適切な管理が義務づけられるというもの。	○

(10) その他

当社は毎月1日に事業場付近の清掃活動を行っております。

エコアクション21を通して、従業員1人1人が産業廃棄物処理業者として自覚を持ち、環境に配慮した行動を心掛けます。町内会との関係も良好です。

また、太陽光パネル設置により、売電及び消費電力の削減を行っております。



(撮影 H30 年 12 月 1 日)



(太陽光パネル(第2プラント))